

【建通新聞社】

2017年11月30日（木曜日）

オリエンタル白石が小学生招き現場見学

東京都建設局第六建設事務所が「魅力発信モデル工事」として発注した「神田川橋梁（仮称）桁製作・架設工事（28六一環4目白台）」の見学会が28日に開かれ、新宿区内の小学生が招かれた。

新宿区西早稲田1丁目地内から、神田川を隔てた豊島区高田1丁目に新たに橋梁を架設する工事で、施工はオリエンタル白石（江東区）が担当している。都市部の住宅密集地での施工であるため、地元住民と積極的にコミュニケーションをとったり、騒音や振動を極力抑える施工方法で工事を進めるなど工夫している。

形式は橋長19・8m、幅員22・8mのプレテンション方式PC床板橋。主桁は全部で30本架設する。この日は、そのうちの1本に小学生たちが応援メッセージを書き込み、目の前でその主桁が架設される様子を見学。作業が終わると拍手が起こった。

現場代理人の野口宏さんは、「児童たちの記憶に残る見学会になっていたら」と話していた。



主桁にメッセージを書く児童たち